

249

ページ

発情期

彼女

マリー

寝取らせ

NTR

懺悔室

先生

シてきますね

それでは

懺悔室で行われる
淫らな交わり

先生でない男と
性行為をする
マリー

すぐ近くで二人の
行為を覗き見る先生

男と身体を交えるほどに
マリーは乱れていき...



彼女

発情期

マリー

寝取らせ

NTR

懺悔室

最後に確認ですが

ご意思にお変わりは
ございませんか

先生

いまでしたら
その・・・

マリー
発情期中の彼女に
これから懺悔室で
寝取らせをしてもらう

わかりました



では以降

手筈の通りに

執り行わせて
いただきます



それでは

シてきますね先生





マリーが
男が待機している
部屋へ入っていった





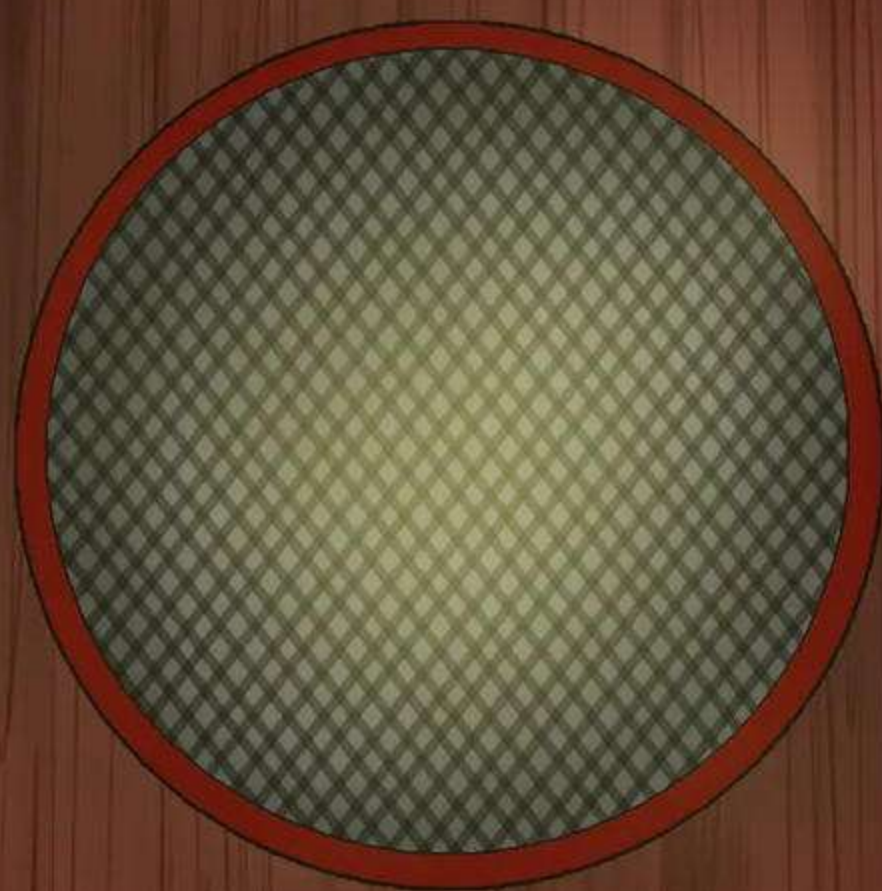
そして自身は
マリィたちとは
反対の部屋へ入る

一人っきりの
懺悔部屋で

イスに座る

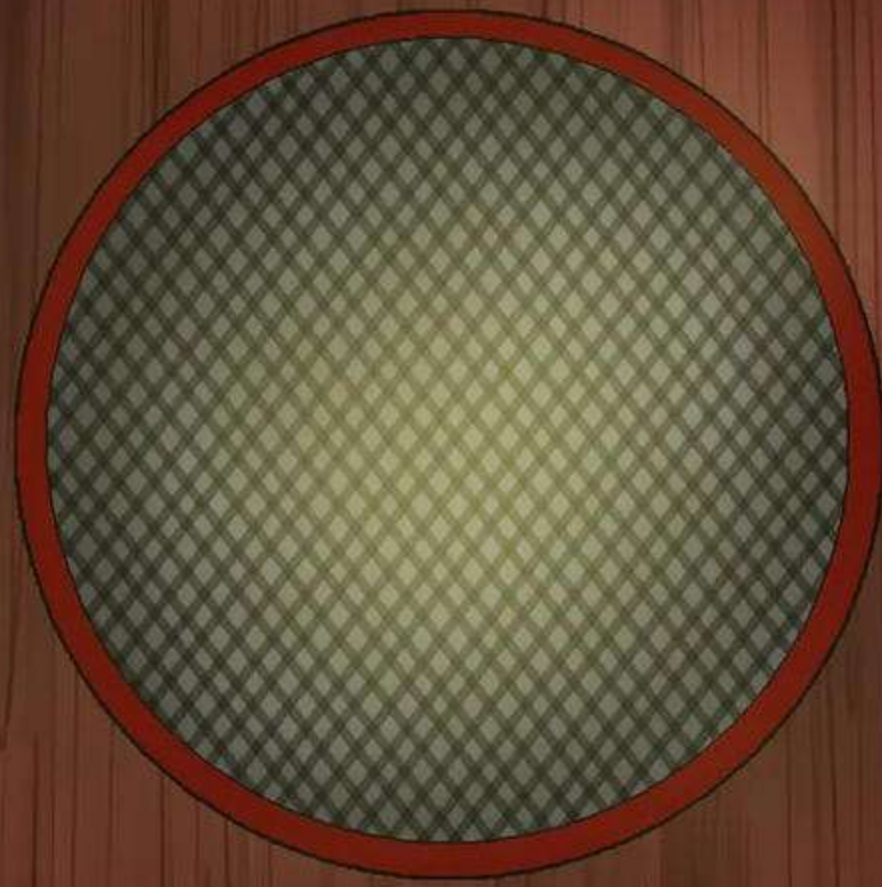
前にあるのは

近づかなければ
向かい側が良く見えない
狭い格子窓があるだけだ



この向かいでは
マリーと男は
狭い密室で
二人っきりで

カラダ
肢体がほぼ密着している
濃密な距離・・・なのだろう



自分で始めておいて
それだけで不安と
イラ立ちが募る

こんな自分のイカれた
性的欲求を頼んでしまった
マリーにとっても申し訳ないし

呼んでしまった彼にも



あの



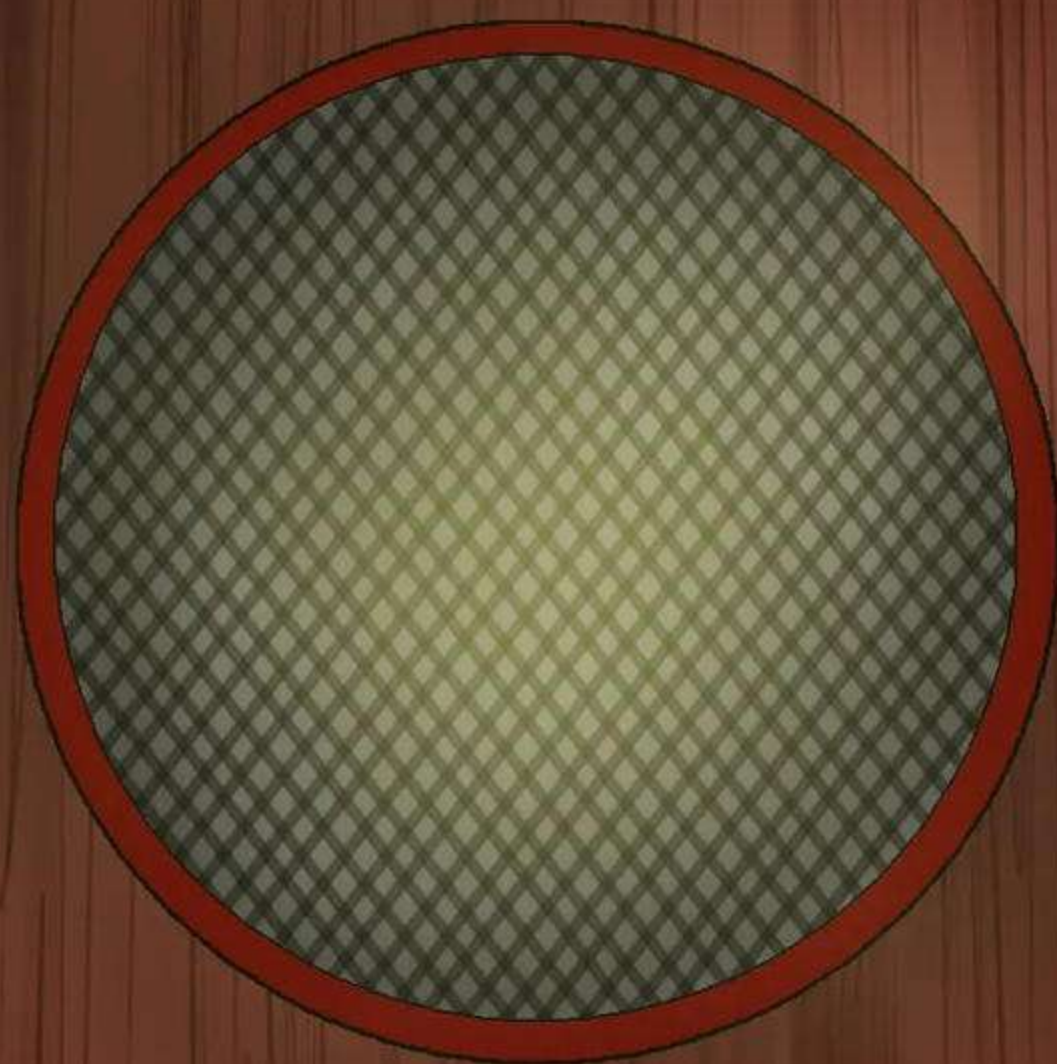
まだダメ



……です



慌てて格子窓に
張り付く



そこで目に映った
のは・・・

男はすでに
カラダ
マリーの肢体を
まさぐ
弄り始めていた



自身の陰茎に
マリーーの手を
あて
宛がわせ

てのひら

彼女の掌の
感触を味わい



ズボン越しに
触った感触から
男の陰茎の形と

自身の膣孔にアナ

挿^い入^れら^た
時^の快^感を

期待した貌をしながら
男に股を愛撫されるのを
許している

かお









違います

違いますから

違っていいない
ですけど

違いますから

いや私は何も
言っていない・・・







これから私の肢体を
用いた性行為で

カラダ

彼のたまった懺悔を
とっぶん
吐憤致します

はあ

はあ

さあ
さあ

私たちの行為が
終るまでには
先生はいないことと

させていただきます



イマもまだいい
けど...ヤバイ

もみ
もみ

なので先生がそちらから
一方的に覗き見て

えっと……
その……

何かをなさっていたとしても
私は一切気には留めません……

もみもみ
もみもみ

ア
ア
ア

あ・・・

もちろん

はぁーっ

はぁーっ

なぐ なぐ

マリーのことが嫌い
なったわけではない

先生以外の方と
シますので

避妊具はして
頂きますし

キスだって
致しません

他の男と仲良くなって
すら欲しく無い

むしろ大好きだ

発情期中の彼女とは
何度か性行為を行っ
た

私自身は搾り取られる
射精感に大変満足した
が

マリーとっても
気持ちよかったよ

終わった後に時折見せる
本人すらたぶん自覚して無かった



彼女のモノ足り
なさそうな

貌 かお

ええ...先生

私も気持ち良かった
...ですよ

それが酷く刺さった

ニムッ





マリーが好きだから

彼女には頭では無く
股間の底から性欲を
満足させたい

・・・それと

マリー
彼女は決してクチには
出さないが

私は知っている

彼女がパートナー
としてでなく

性的に滾る
たぎ

からだづ

異性の体格きを

マリーが快樂に耽り
性欲に満たされた様が
視たいと

私の性的な頼み
ということと
彼女自身も思う
ところがあつた
のか

そのことを伝えたら

では
はじめますね

洩りながらも寝取らせを
引き受けてくれた

やわ
やわ





先生のではない
おちんちん……

う……わかってはいたが
私のより大きく

マリーが早速お気に
召していて……悔しい

に……
握っちゃったあゝ

はあ

はげなげ



直接握るとよくわかります
先生と全然違うって

先生より**硬くて**

先生より**太くて**

先生より**大きくて**

マリーが私以外の
男の陰茎を握って
快楽を与える為に
手淫している現実

なんというか
セックスしたくなる
おちんちんです



陰莖ってこんなに撓^{しな}るものなんだ
手を押し返す弾力も段違いだし
ドックンドックン脈打っている
のが生命の力強さや逞しさを
感じてまさに男根って感じて

これが私の腔^{なか}内に
これから・・・

マリーの手コキの
具合が良いのか

男は尻を触る手を緩め
為すがままに陰莖を
擦^{さす}られている



彼女が他の男の性器を
握って興奮している
ところが

先生……

辛くて苦しくて
興奮が我慢できない

興奮してる♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡











ん

!!

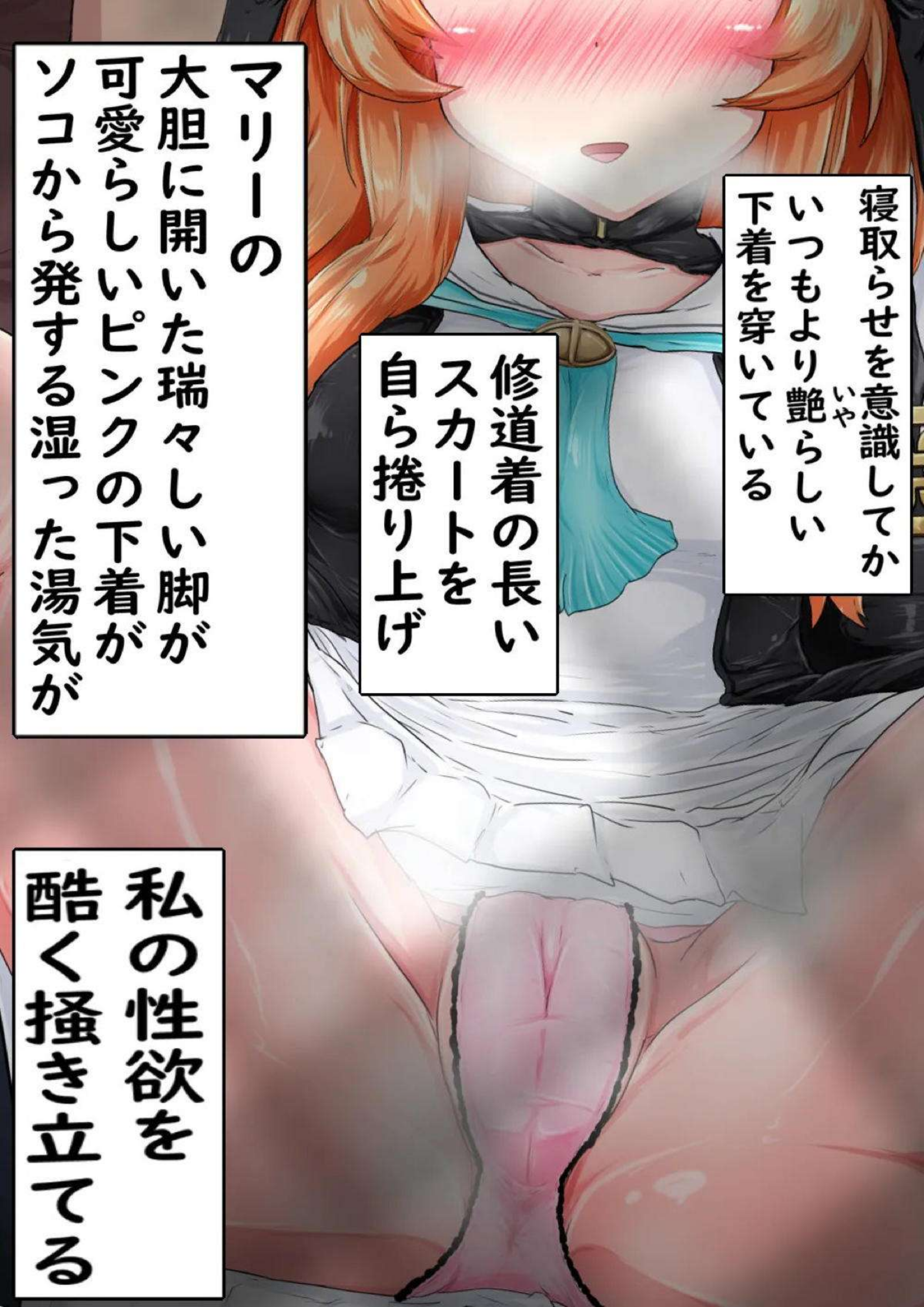
く ー

こうした方が
も・・・っと

弄りやすい
ですよ

マリーが文字通り
股を広いていた





寝取らせを意識してか
いつもより艶らしい
下着を穿いている

修道着の長い
スカートを
自ら捲り上げ

マリーの

大胆に開いた瑞々しい脚が
可愛らしいピンクの下着が
ソコから発する湿った湯気が

私の性欲を
酷く掻き立てる

というか
こちらを意識しないと言いつつ
時折こちらを意識した仕草を見せる

まさかマリー

寝取らせを頼んだ私に対して
性的な挑発で
仕返しをしているのか

























ああ・・・
マリーが下着を脱いで
しまった

ショーツの中で蒸された
湯気が上がり
クロツチから粘っこく
糸を引いた愛液がたれ

これから男にあの秘裂を
弄られそのあとには・・・











こういうのは
いかがですか？







どうですかあ〜？

コレ

はあ

ご加減は
いかがですかあ〜？

よろしいみたいですわね♡

コレすると先生だと

フム♡

す

ぐ

イっちゃうんですよぉ♡

2



しょうがないじゃん
うま
マリーのアレ巧いん
だもん

ク
ク
ク

あとこれもつけると
いいんでしたっけ♪

おちんちん

触られてもいないのに

よしよしよし

イイ子イイ子って

龟头がマリーの
手の平の感触を
思い出してしまう

ク
ク
ク









我慢汁でグチヨグチヨの
亀頭をそんなエグい握り
方して扱いたら

真空中に密着したマリーの
手の平で男の亀頭全体が
刺激されてしまう











マリーも男も
限界なのか

互いの性器を
貪るように弄る

そして私も
もう・・・









又いてしまった

マリーと男が互いの
性器を弄り合い
絶頂している姿に
又いてしまった

き・・・
きもちよかった

はあー♡

射精したんだ
先生♡

はあー♡

普段なら一回したら
硬度を失うはずの陰茎は
未だに硬く射精し足り
なさそうに勃起していた

んっ...





ねば
粘っこい欲望を
染み込ませるように

マリー
彼女の手の平に
男は亀頭と精液を
押し付ける

嫌悪すべき行為なのに
さらに興奮している
自分がいる

え……と





？
いえいえ

私の手を気に入って
頂けた様で嬉しいですよV

あ……
はい

お出しになった精液を
飲んで欲しいですか？



男の要望に躊躇無く
笑顔で応えるマリー

わかりました

はい



マリーが他の男の精液を
クチにするなんて嫌だ

マリーが男の精液を飲んで
いるところを見して欲しい

すげい
臭い

見たのも濃くて
あたかもいい





自分が支離滅裂な
欲望を抱いているのに
関係なく

マリーは男の精液に
クチをつけた

マリーが苦しそうに
すす
精液を吸る音が・・・

マリーのクチから
精液を咀嚼する音が・・・

マリーのノドから
精液を飲んでる音が・・・



非現実な現実の光景に
ゲスな興奮が沸き立つ













わかりました

え？
あ・・・はい

マリーに何かを言うと
男は立ち上がり・・・





位置はこの辺り
……ですか？

ス
ス
ス……

マリーが小窓に
近づいて来た

何だろう・・・
このタイミングで
距離を詰められると
・・・気まずい

寝取らせ中は互いに無関心
なスタンスだったので

男に股を愛撫され潮吹きした
彼女に興奮して又いた私と

え・・・と・・・

雰囲気酔って当てつけ気味に
見せつけて盛り上がっていたマリィ

急に間が空いてしま
うと・・・気まずい
マリィもそうなのか
笑みがギコチナイ

あは・・・
あはは・・・



まさか男のズボンを
脱ぐ音を聞いて
ホッとするこ
とがあるとは・・・

あ





うおっ
でっか

私ではできない
チンポ目隠しで
視界が遮られた
せいか

さきほどまでは
一応取り繕って
くれてたのだろう

まみ
精液で塗れた
男の勃起チンポ
を眼前に出されて

マリィが
発情している



不安になり
迂闊にも
声をかけて
しまった

マリーは寝取らせの
体裁を守っているのか
聞こえないフリを
してくれた

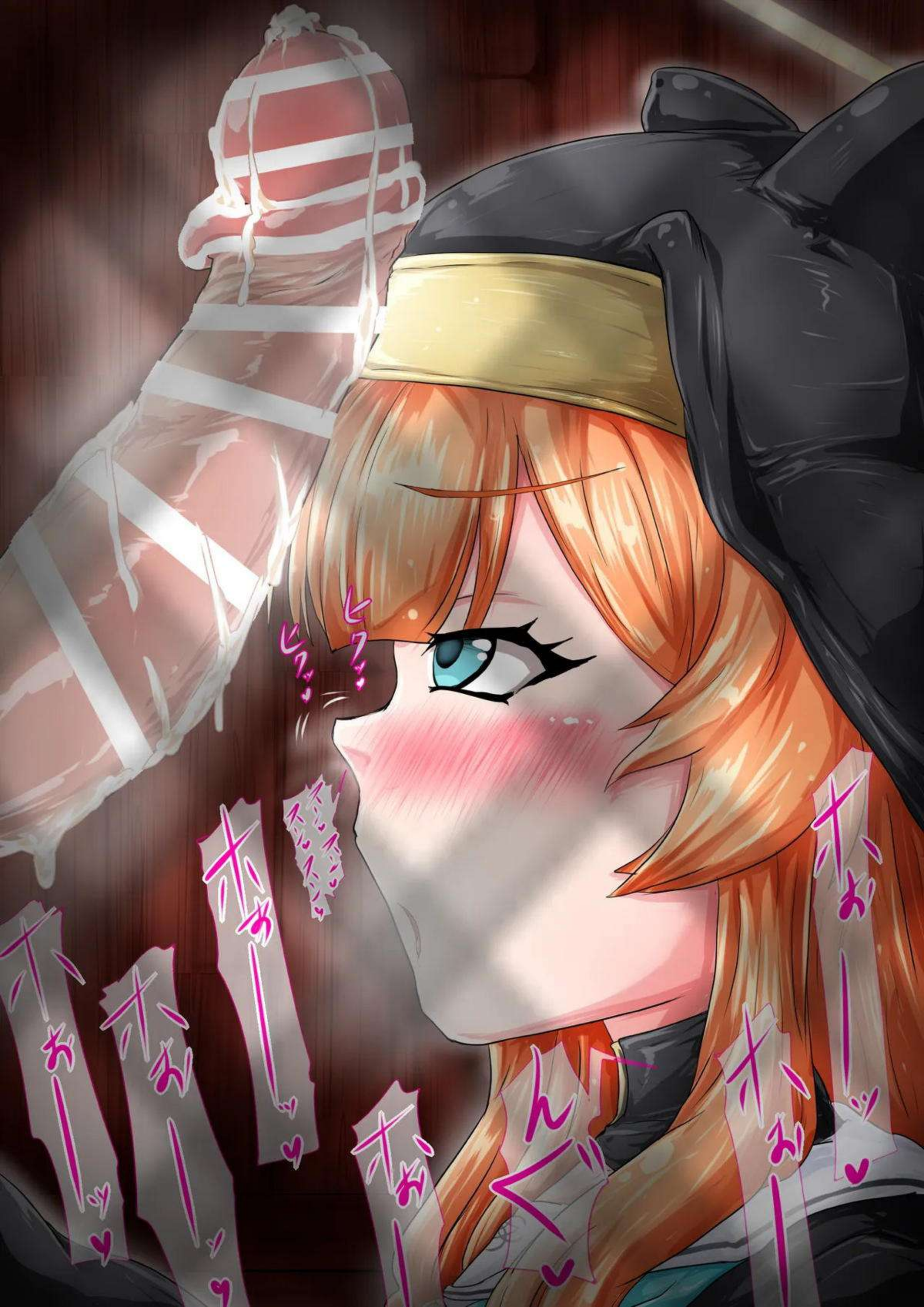
それとも男のチンポ
に夢中で本当に
聞こえて無かったのか

だ・・・
大丈夫だよな





2.







































うわぁぁぁぁぁ
うわぁぁぁぁぁ



マリーが男のチンコから
直接精液を飲んでいる



マリーが男の
陰茎をしゃぶり

精液を飲まされ
れている

その事実につれた
興奮が昂ってしまう

はあ

はあ



お3





その先っぽだけ
クチ付けて

尿道をストローにして
残った精液を吸うのは

されるのも見るのも
私は弱いんだ！

あ・・・..
勃ちっちゃった











コンドームをつけると
あ：・マリーがホントに
目の前の男とセックス
始めるんだと理解^{わか}ると

心臓と陰茎が
苦しく脈打ち始める

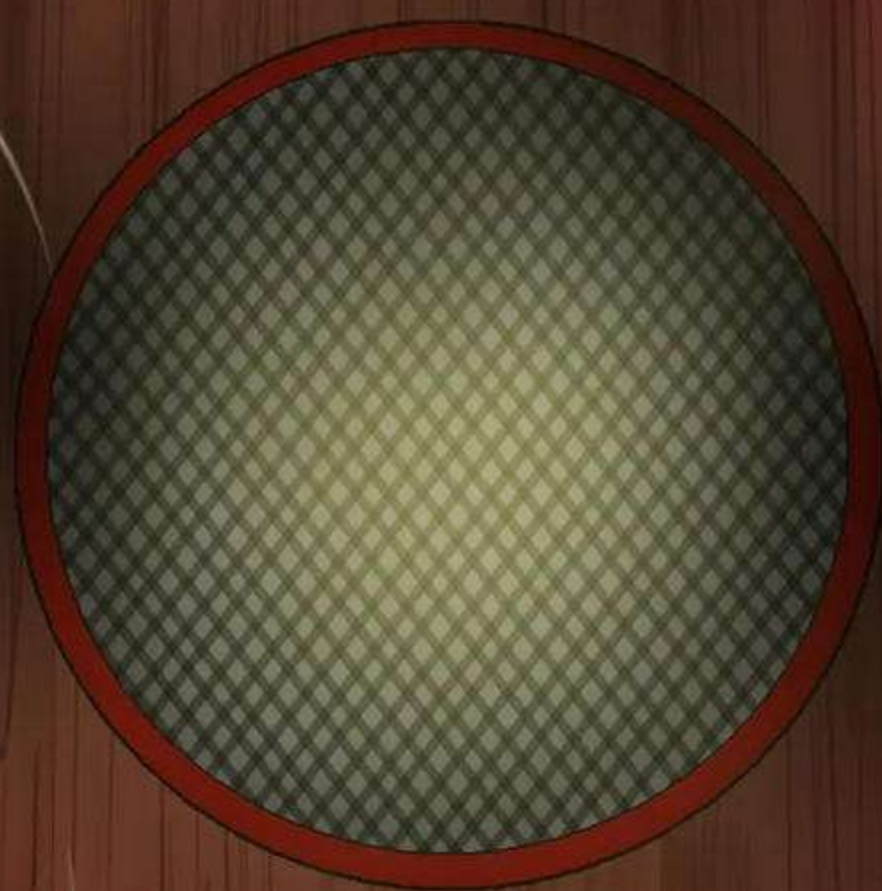
なにより
マリー自身が

セックスすることに
思考が移行している
のが・・・

胸に来る



マリーが本当に
私以外の男と
セックスしてしまう



どこかしらマリーに
止まって欲しかった
のかもしれない



現実には寝取らせ
を受け入れ

浅ましい考えを抱いていた
私の存在など頭に無いように

二人はセックスを始める
段取りを着実に進めていく



そしと

男が座り



マリーが
その上に座る



水音を立てながら
いやらしく

避妊具越しに
こす
性器を擦り合わせる



すでに濡れている

ほと女陰と陰茎を
さらに昂らせ・・・





マリーが少し
腰を上げる

そっ・っ・っ

マリーと男の
性行為が

セックス

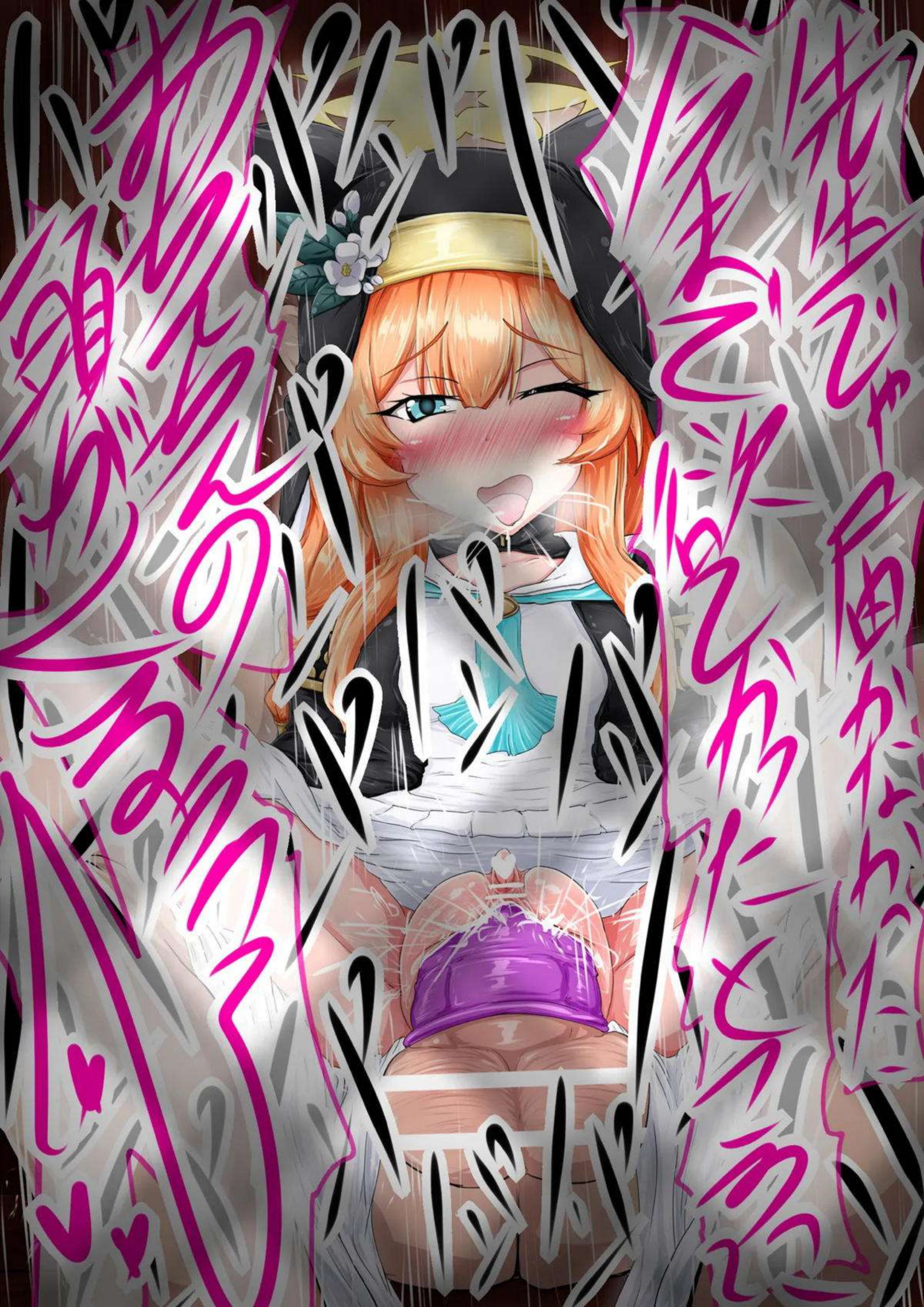
始まってしまった

























マリーが男と
セックスをして
絶頂している姿に

痺れるほどの射精感に
陰茎が震えた

この快感が酷く
たまらなくて

絞るように
亀頭を潰すように

自身の陰茎を扱くのが
やめられない



避妊具越しとはいえ
マリーには

自分以外の男の陰茎を
受け入れさせ
膣内で射精までされ
絶頂した姿を晒している

倫理的に酷いことなのに
興奮なんてしてはならない
はずなのに

マリーがもつと
いやらしい顔で声を上げ

もつと性欲で塗れた交尾で
快楽に蕩けている姿で

射精したいと
股間は勃起して
待ち望んでいる

私のセックスじゃ

ありはあなたには

あげたことない

それにあなたに

表情見たら

ク

ク

マリーは私の彼女

なんだ

ク

私もあなたに

なに執着して





たぶ...

なんだあの
精液の量は

ついさっきまで
アレがゴム越しでも
マリーなかの腔内に
あったというのか

すっごく量多いにせよ
精液ってこんな量でいいの
ものやんぞ
ぐんぐんおちたら
そのまんま腔内し
ゴウッ

はぁ♡

あぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡





ゴムが無かったら
いまごろ

あの精液いっぱい
蠢いている
白いオタマジャクシ
の大群が

マリーの子宮の
中に入り込んで

うじゃうじゃ泳ぎ
まわっていたのか

ビビッ



あの...
も、とやうてください

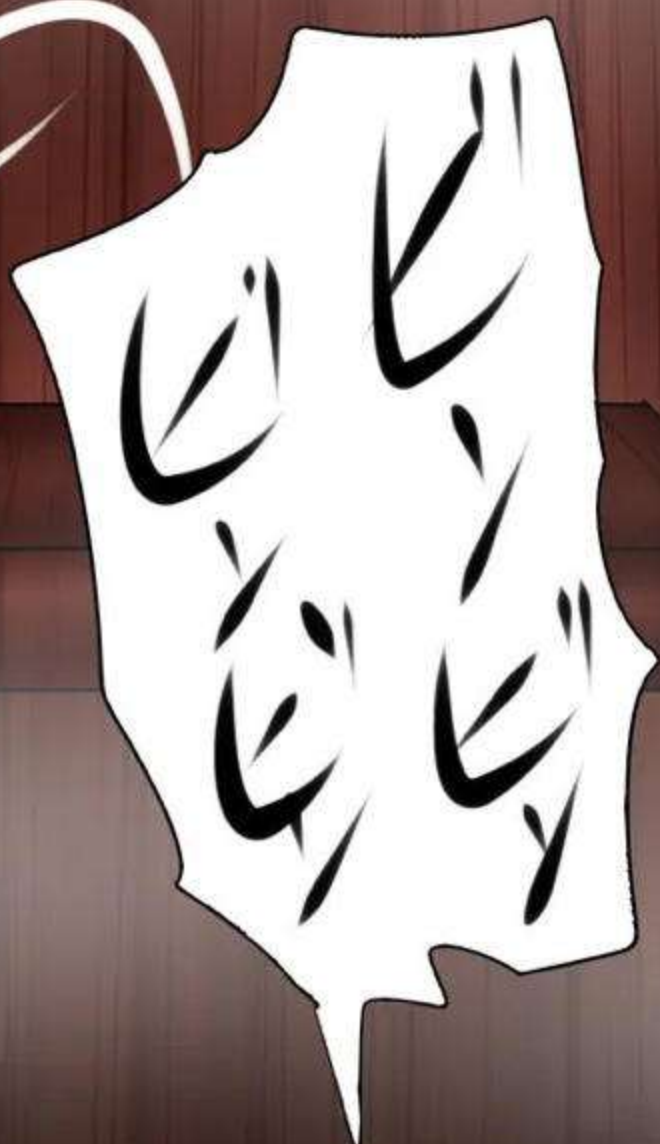
はあ

はあ

マ、ギョソモ
乱暴に...

!!

マ・・・マリー
一体どうい
つもりなんだ



動揺する私をよそに
マリーは
男のコンドームを
付け替え……

性処理具のように
男の陰茎を打ち付け
られていた





股を開くように
両足を固定され

肛門までよく見えるように
無防備に開かれた陰唇に

男の陰茎が容赦なく
叩き込まれる



その余りにも無惨で
屈辱的なマリーの扱いに

私は・・・
陰茎を扱き始めて
しまった

マリー
彼女がぞんざいな
扱いをされている
というのに

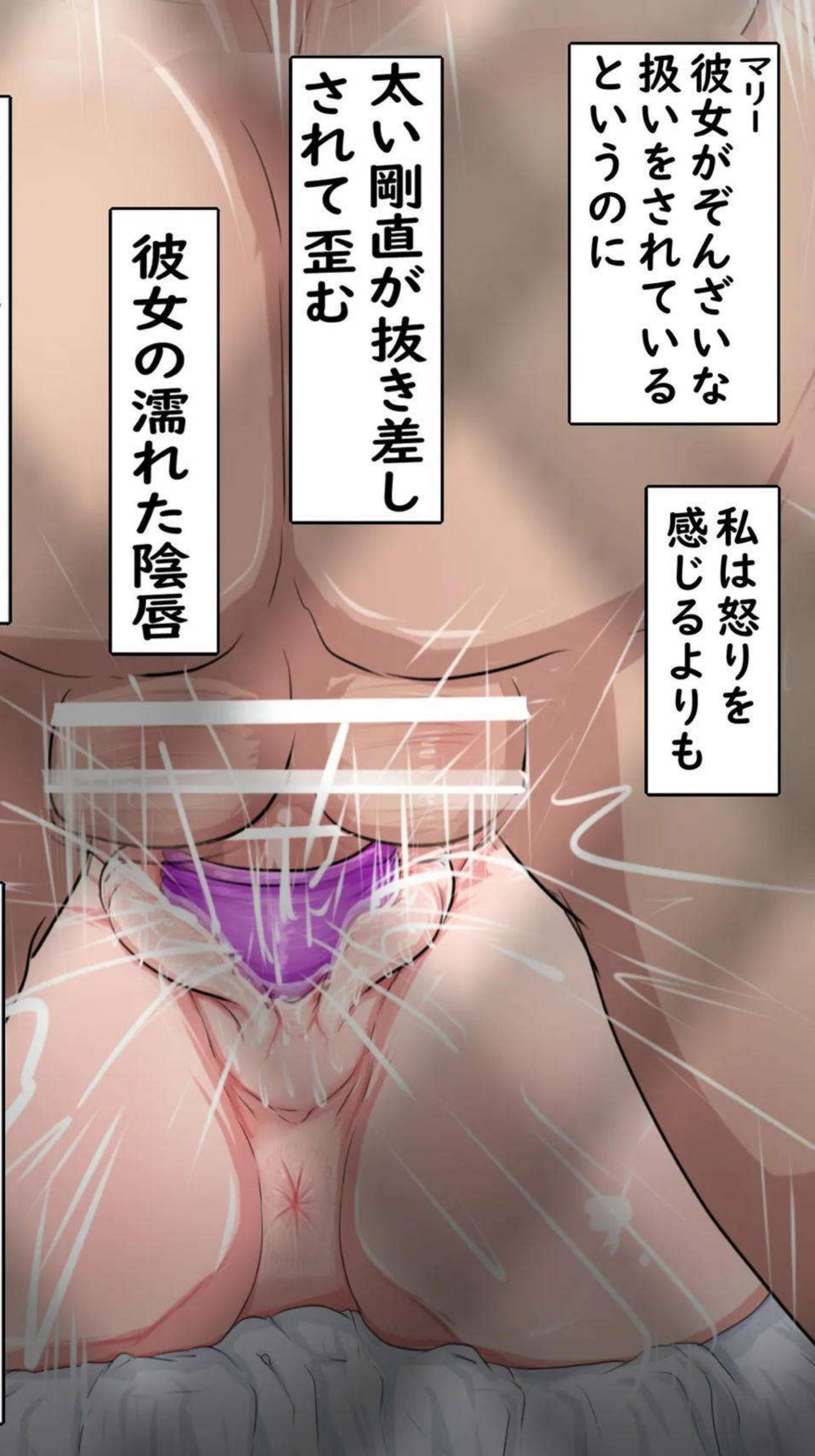
私は怒りを
感じるよりも

太い剛直が抜き差し
されて歪む

彼女の濡れた陰唇

シワまで丸出しに
なっている
彼女の尻穴に

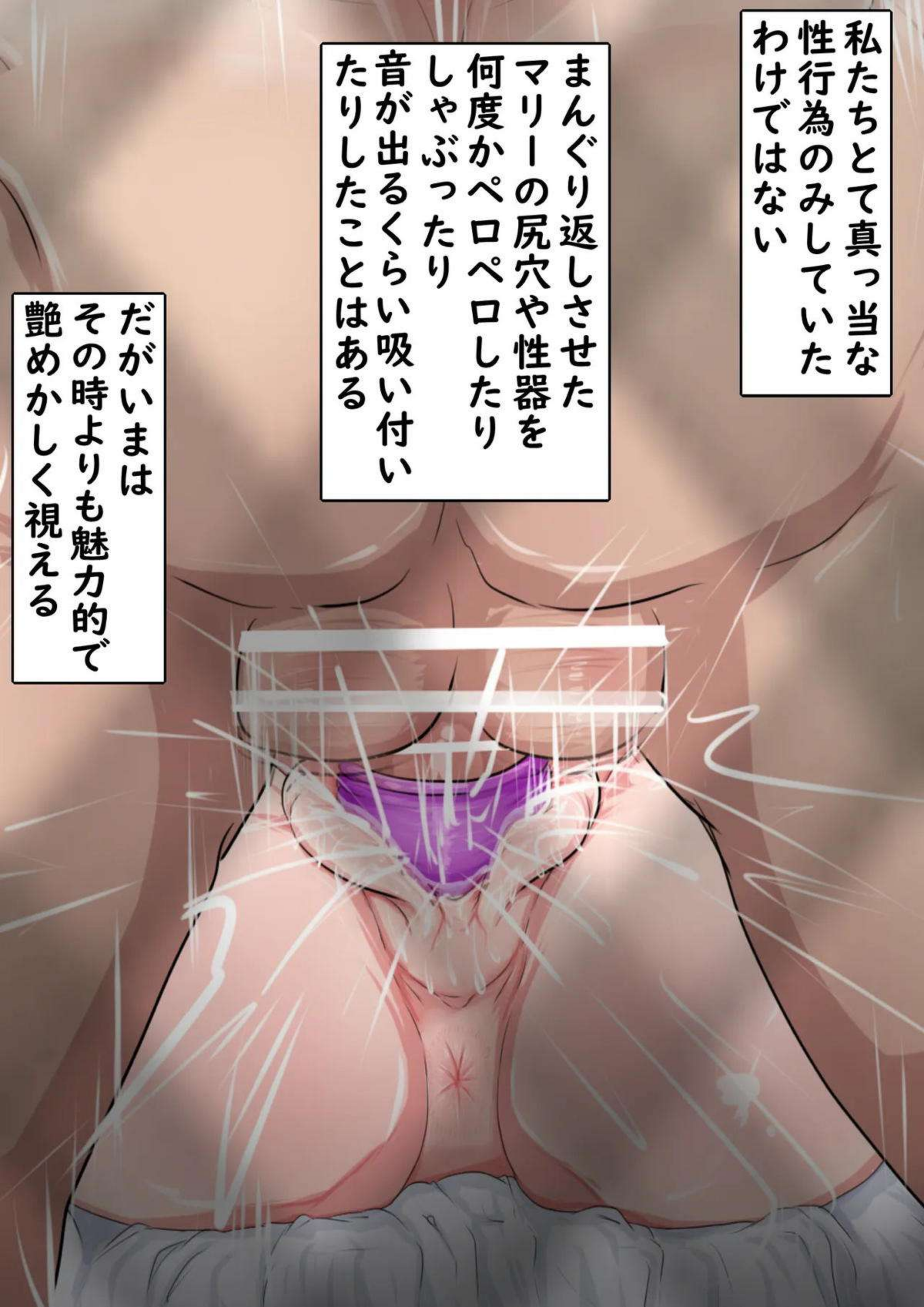
興奮している



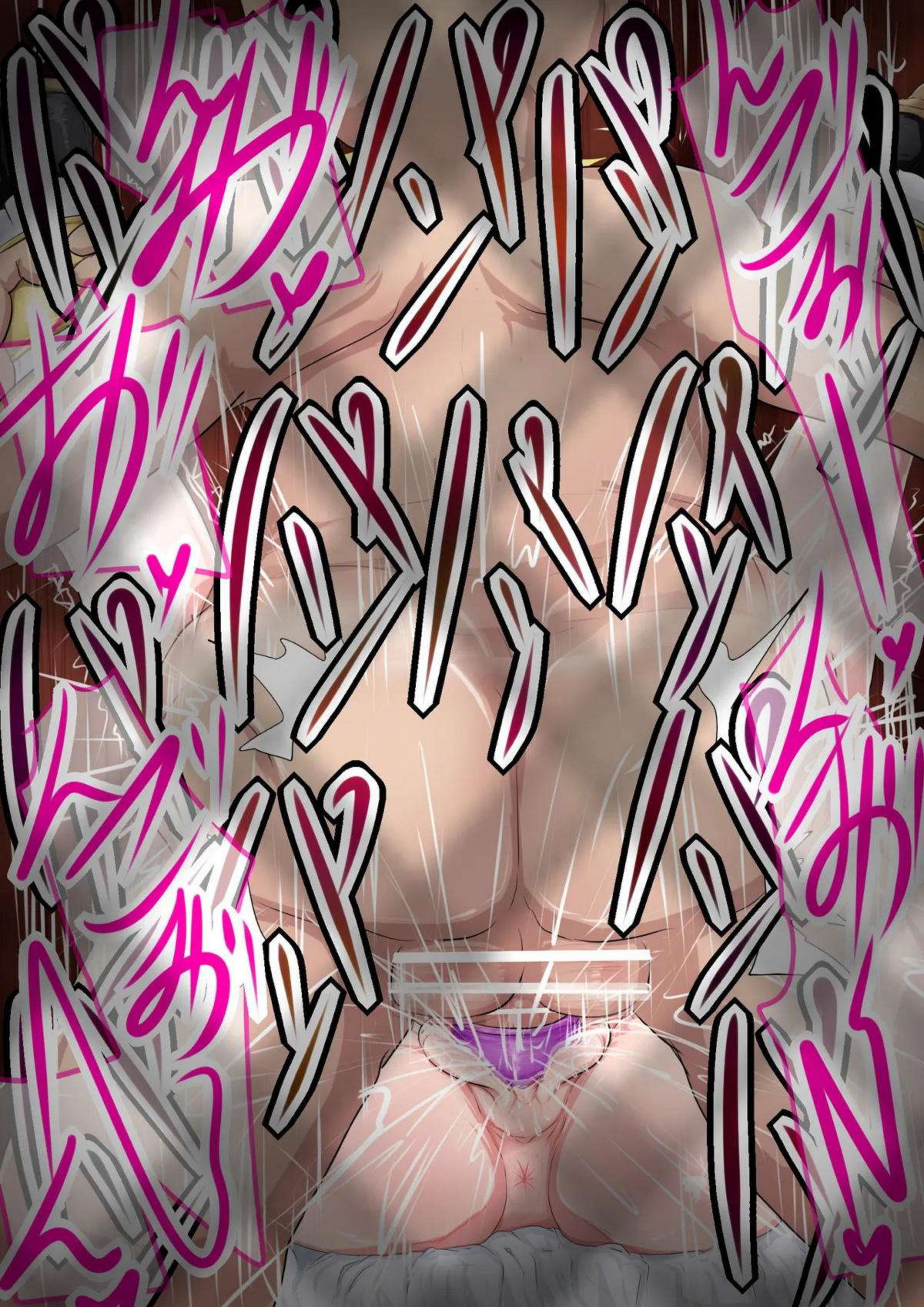
私たちとて真っ当な
性行為のみしていた
わけではない

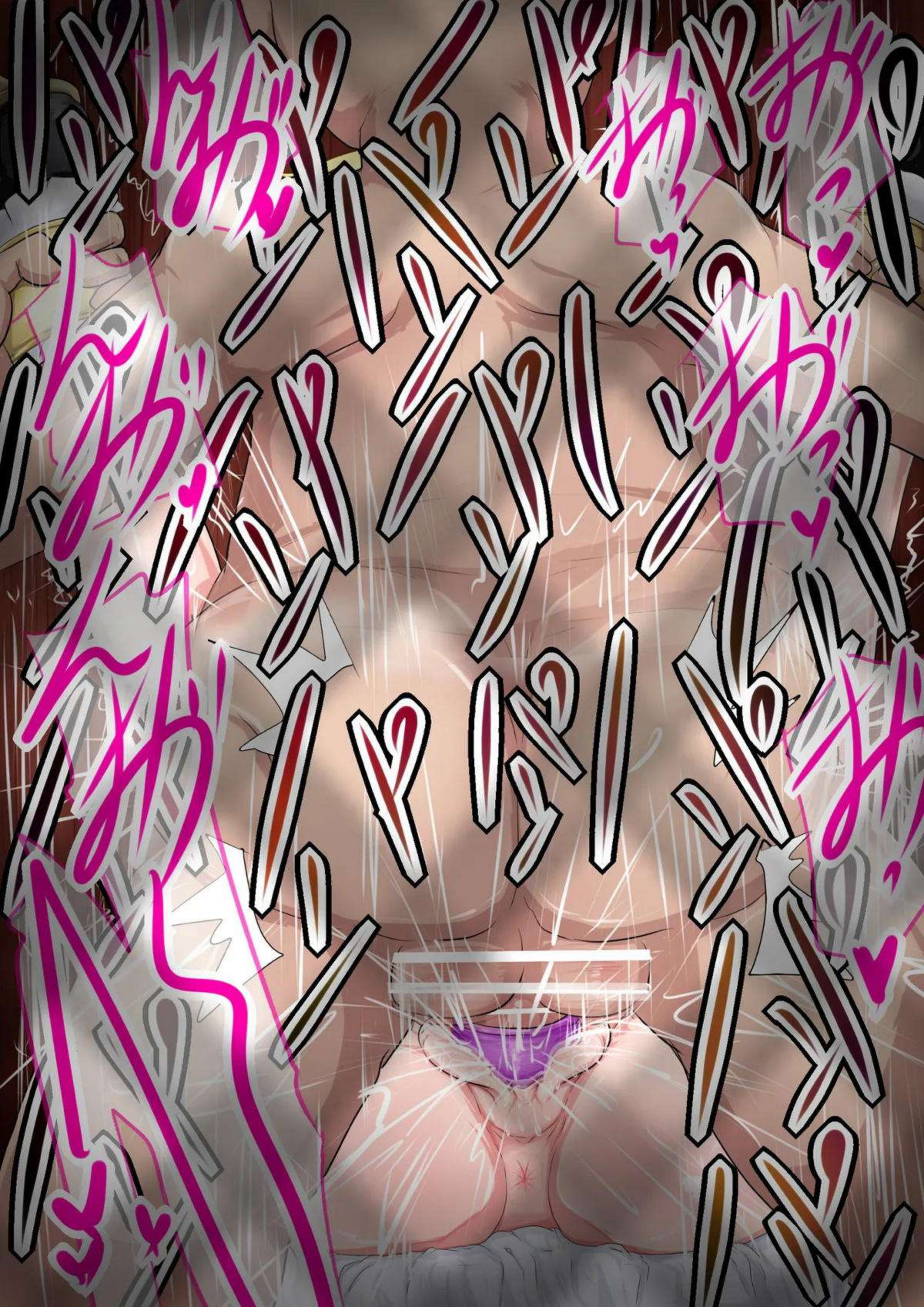
まんぐり返しさせた
マリーの尻穴や性器を
何度かペロペロしたり
しゃぶったり
音が出るくらい吸い付い
たりしたことはある

だがいまは
その時よりも魅力的で
艶めかしく見える

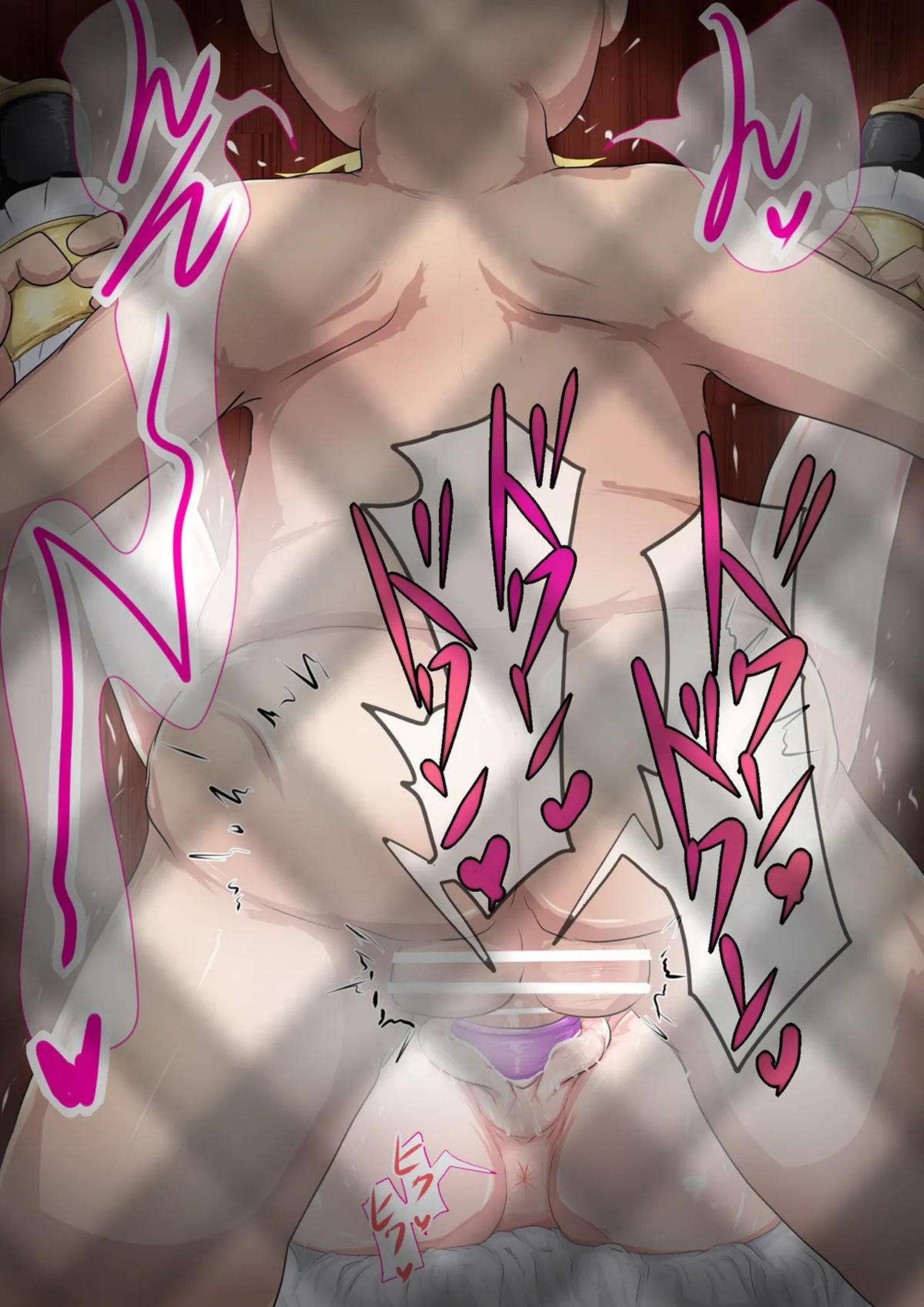


マリーおたけの獣の雄叫びの
ような嬌声が
陰茎を更に扱かせる



























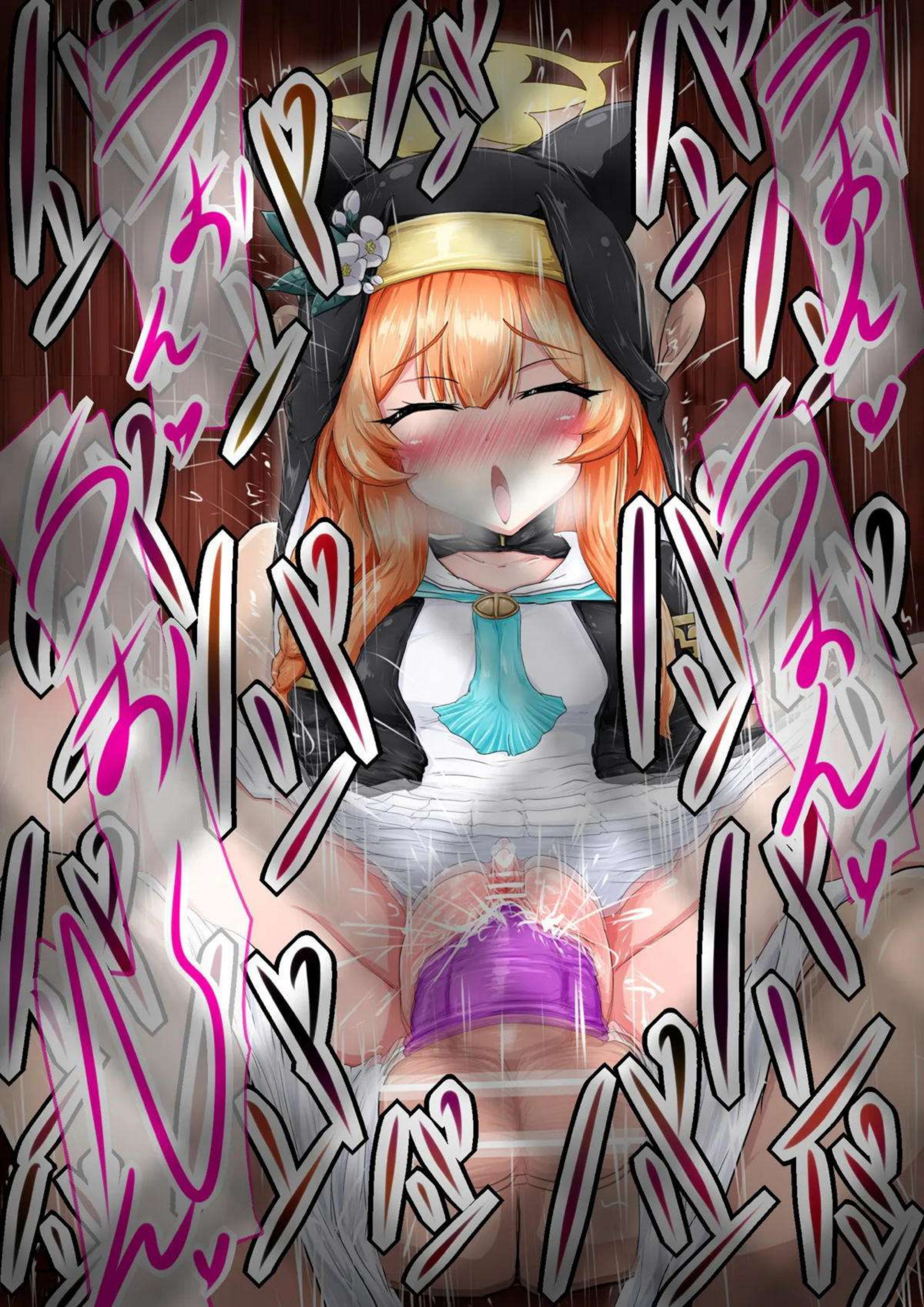












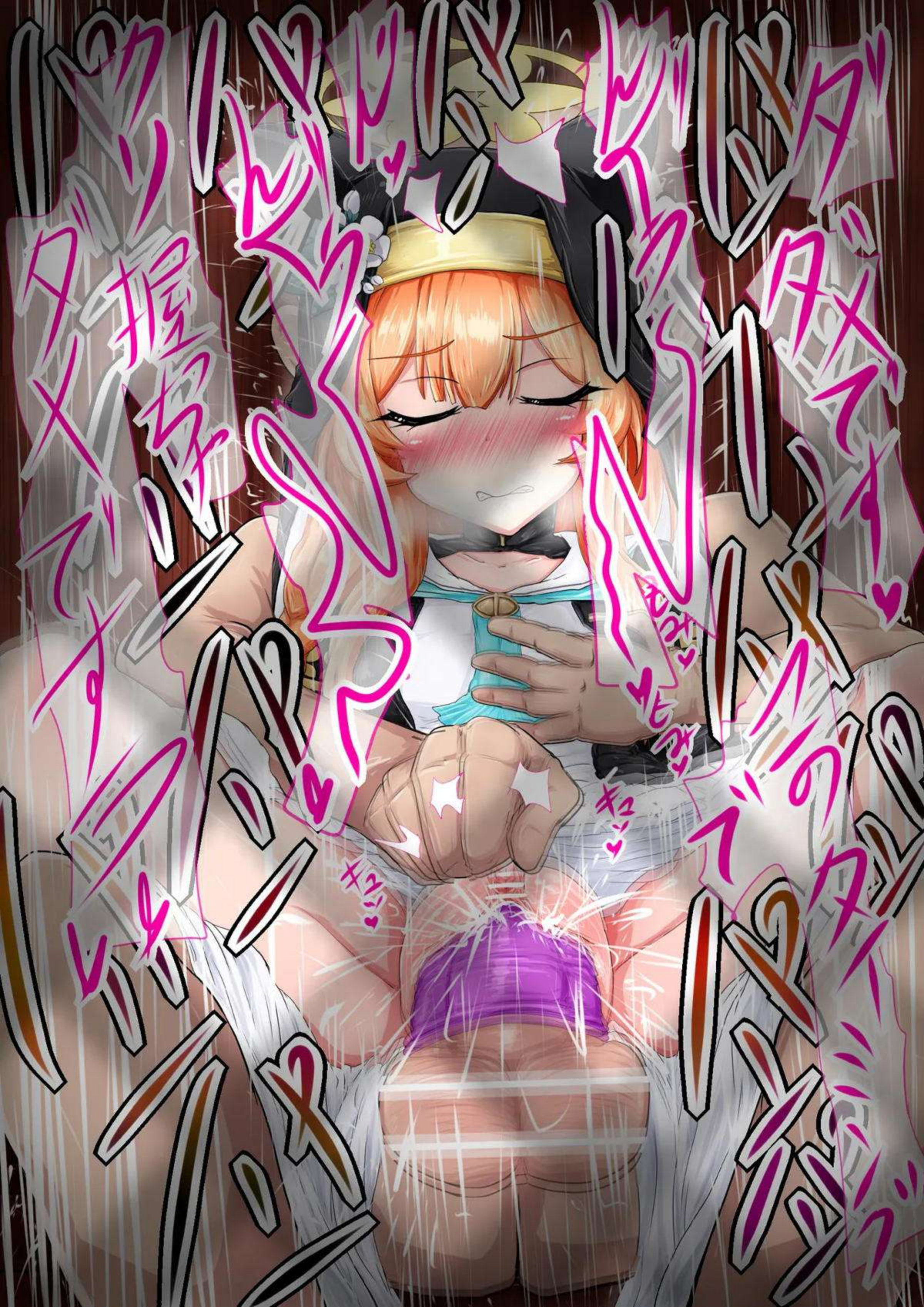






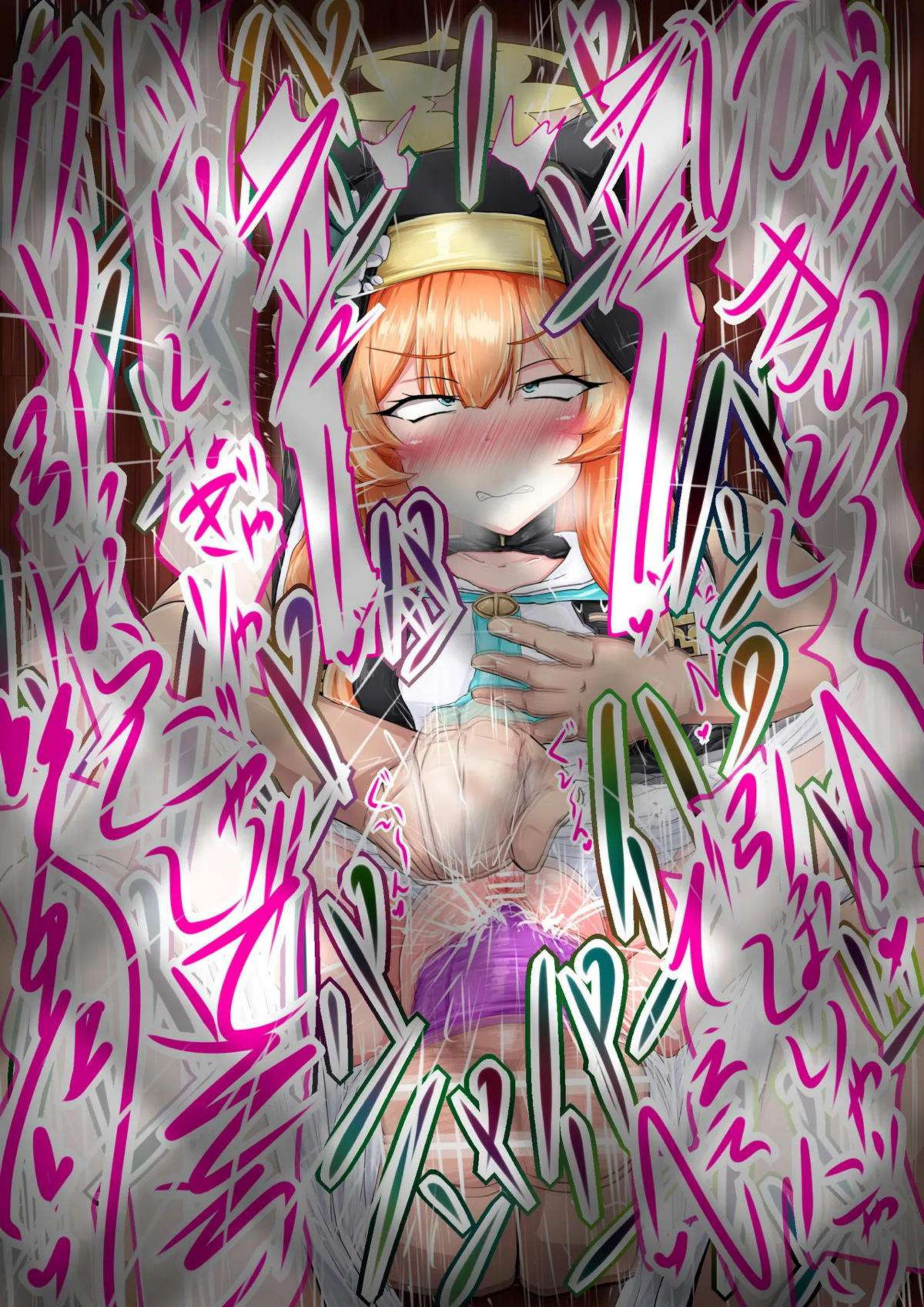


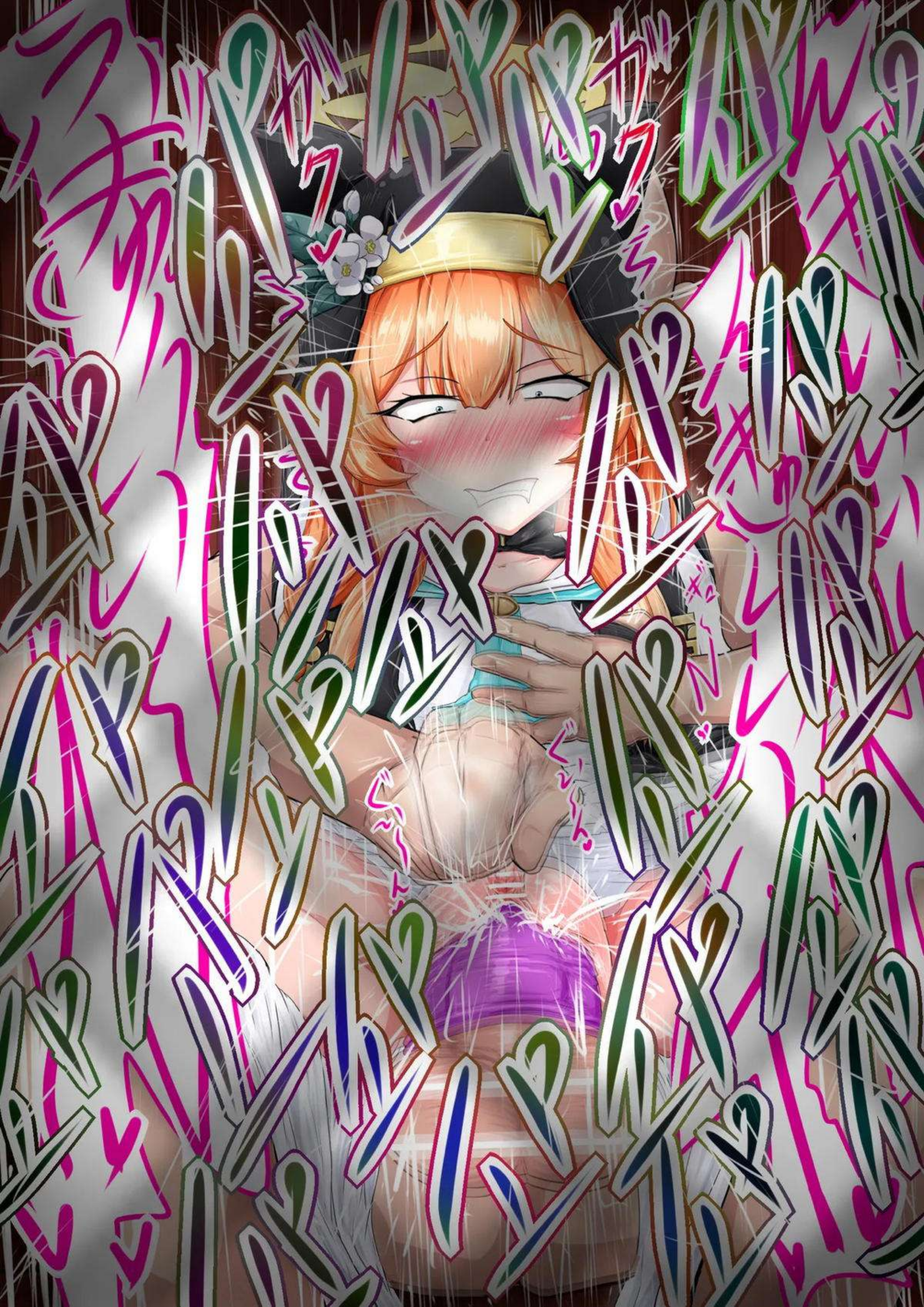


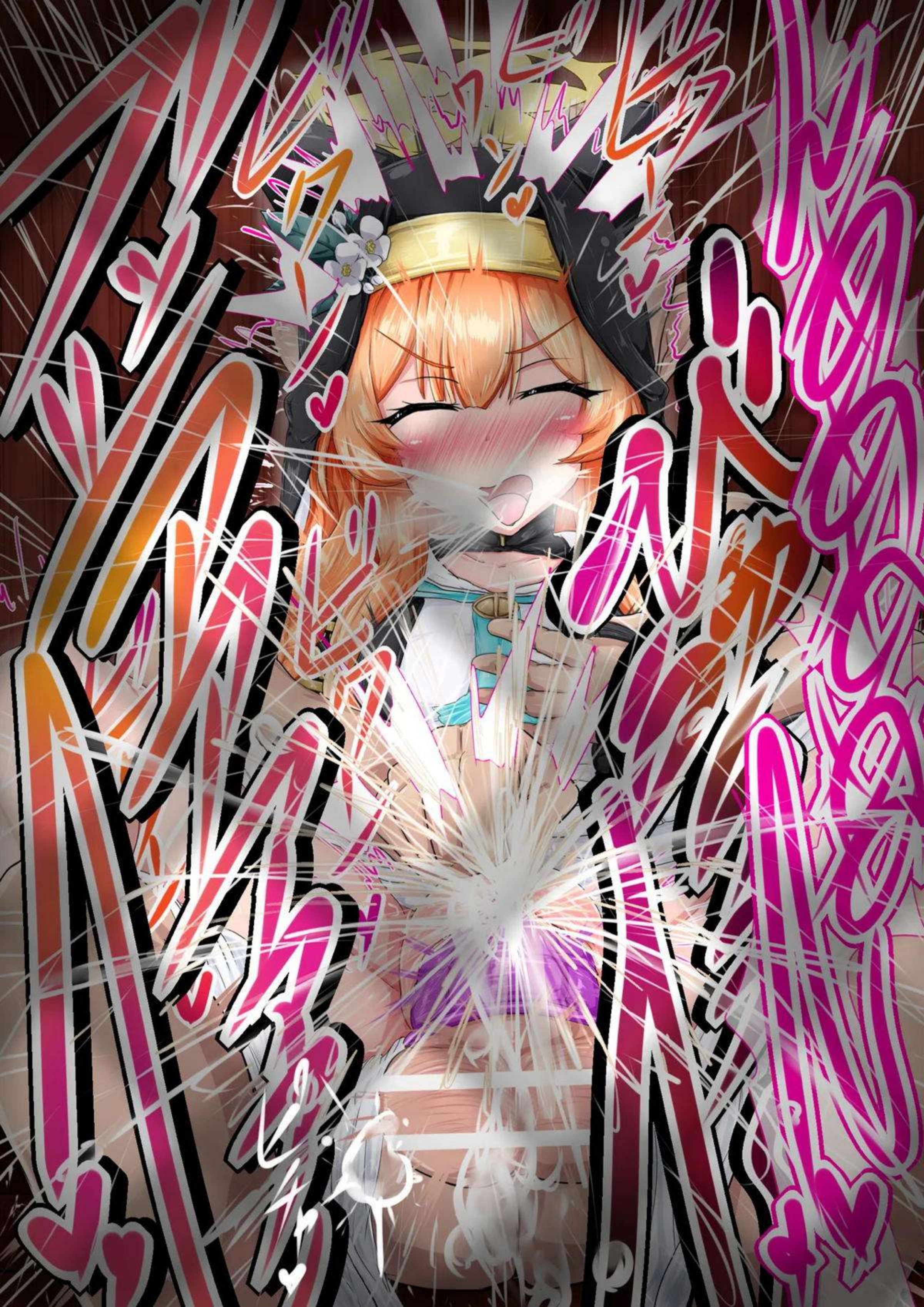






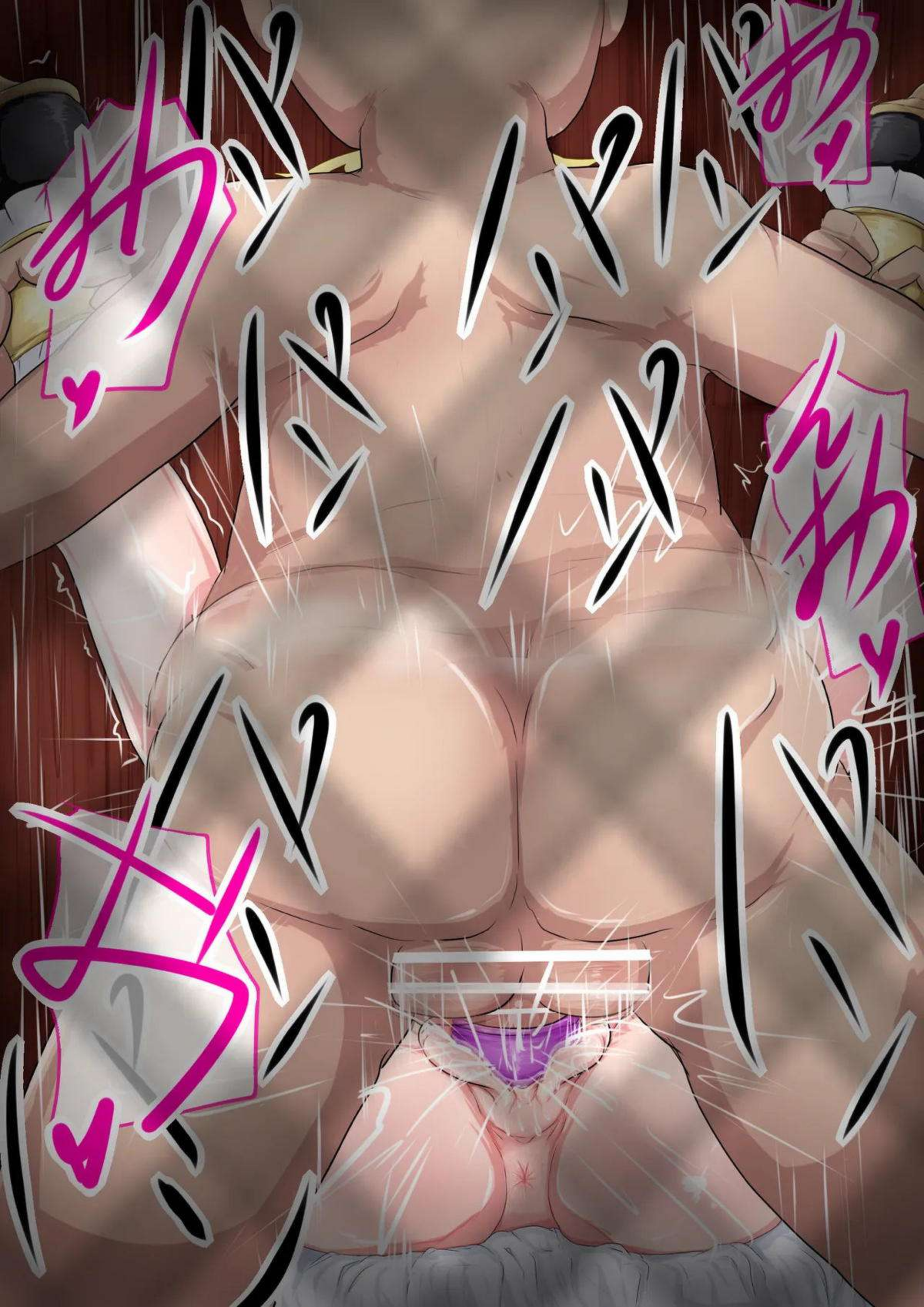


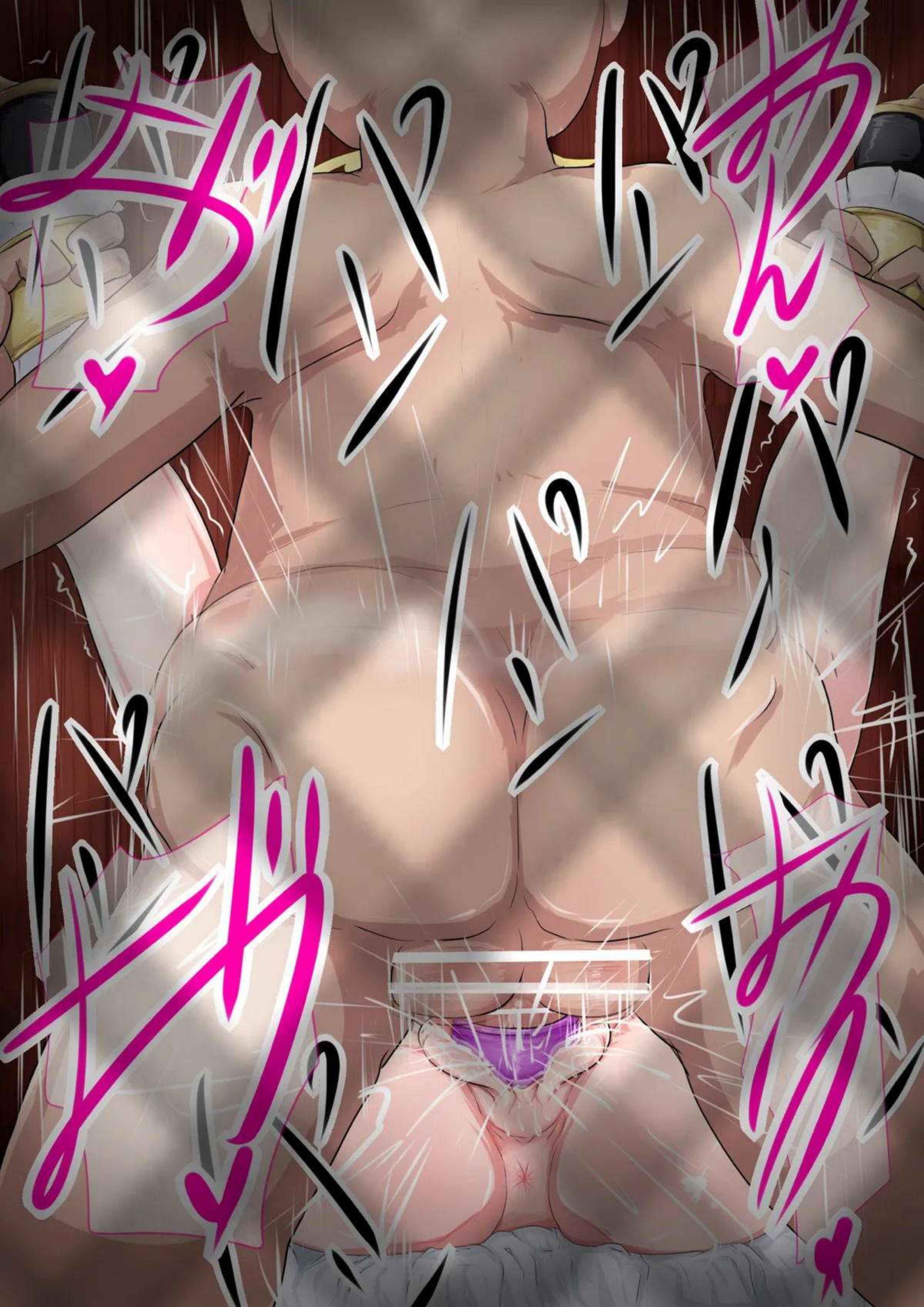














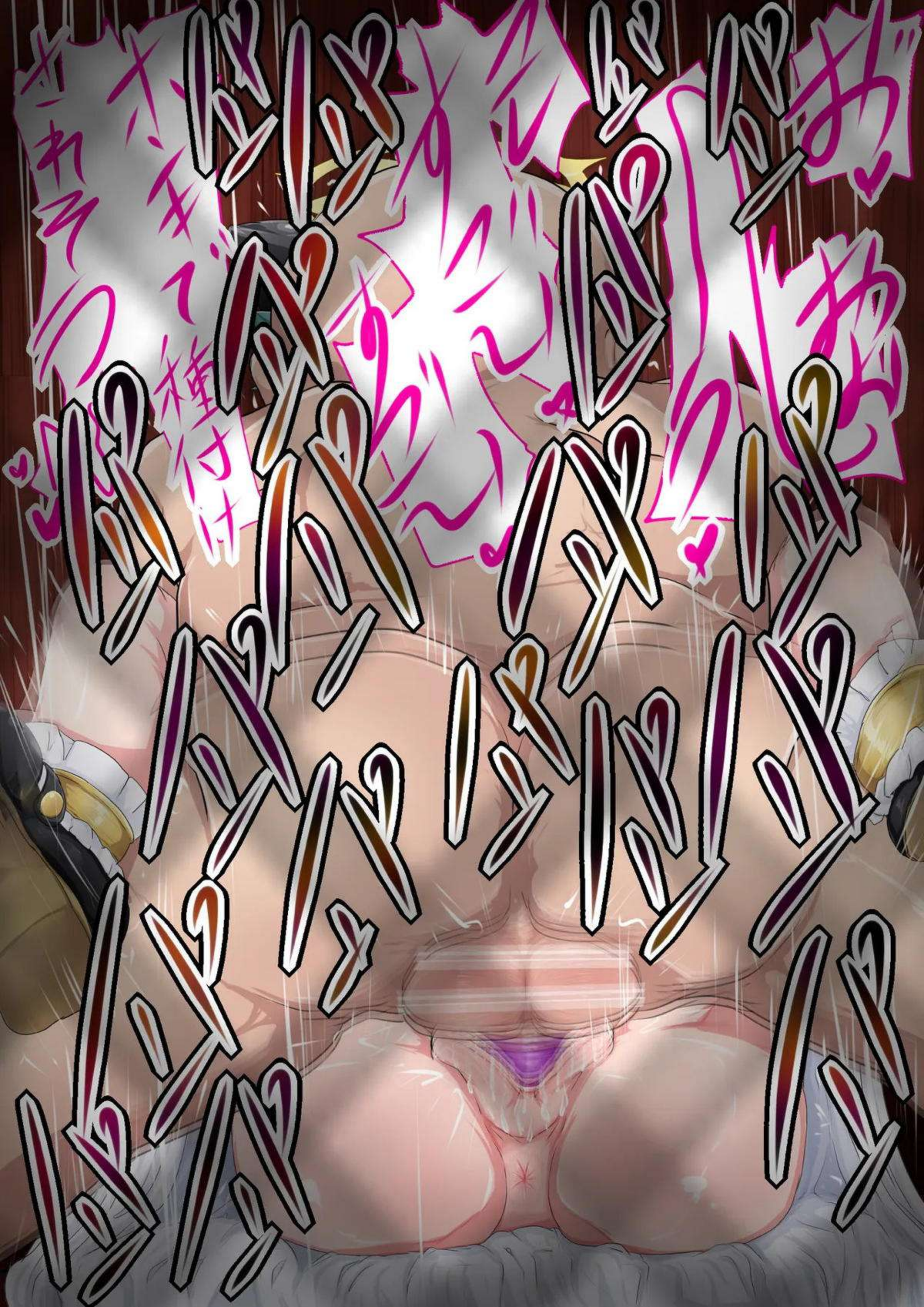


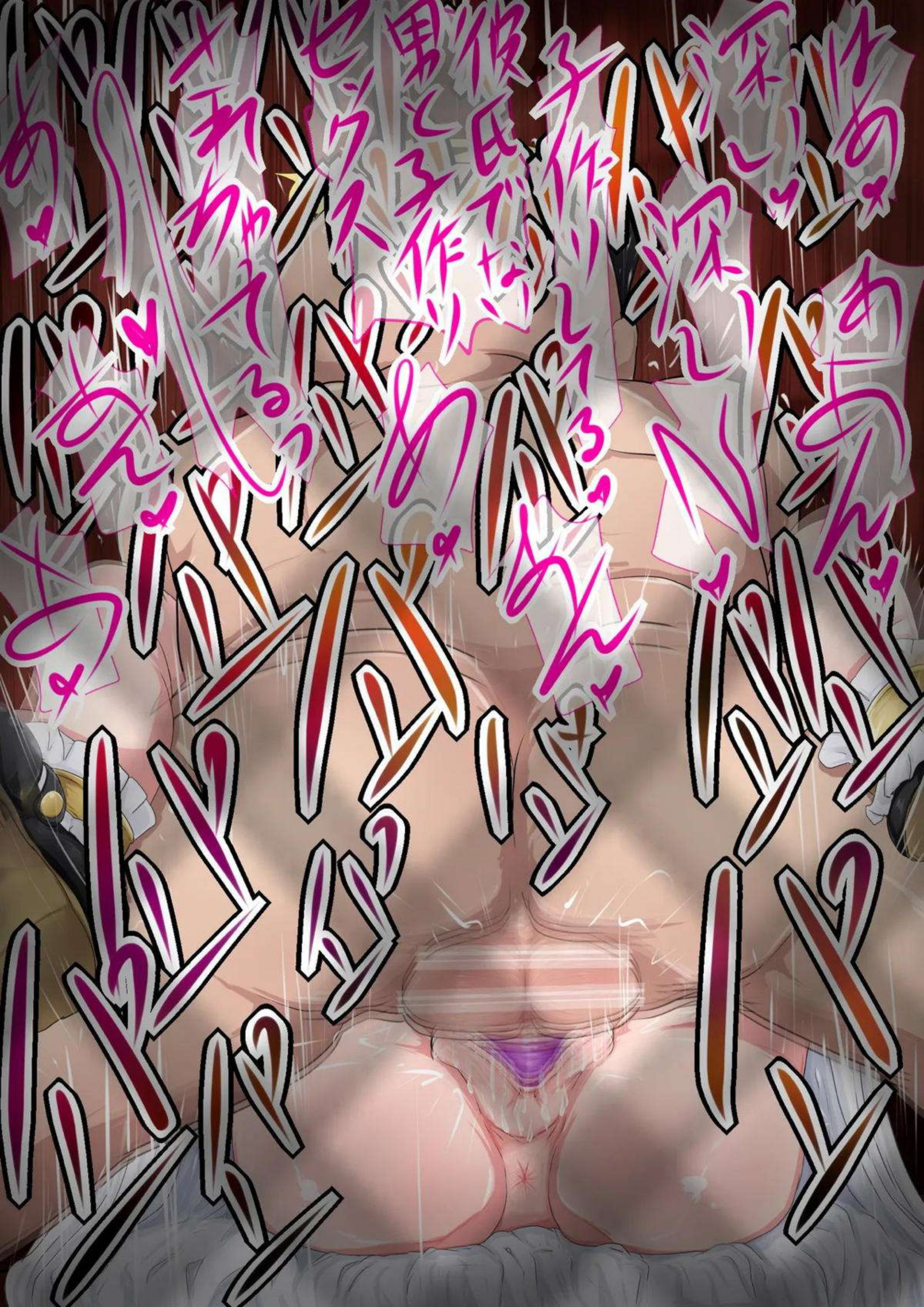














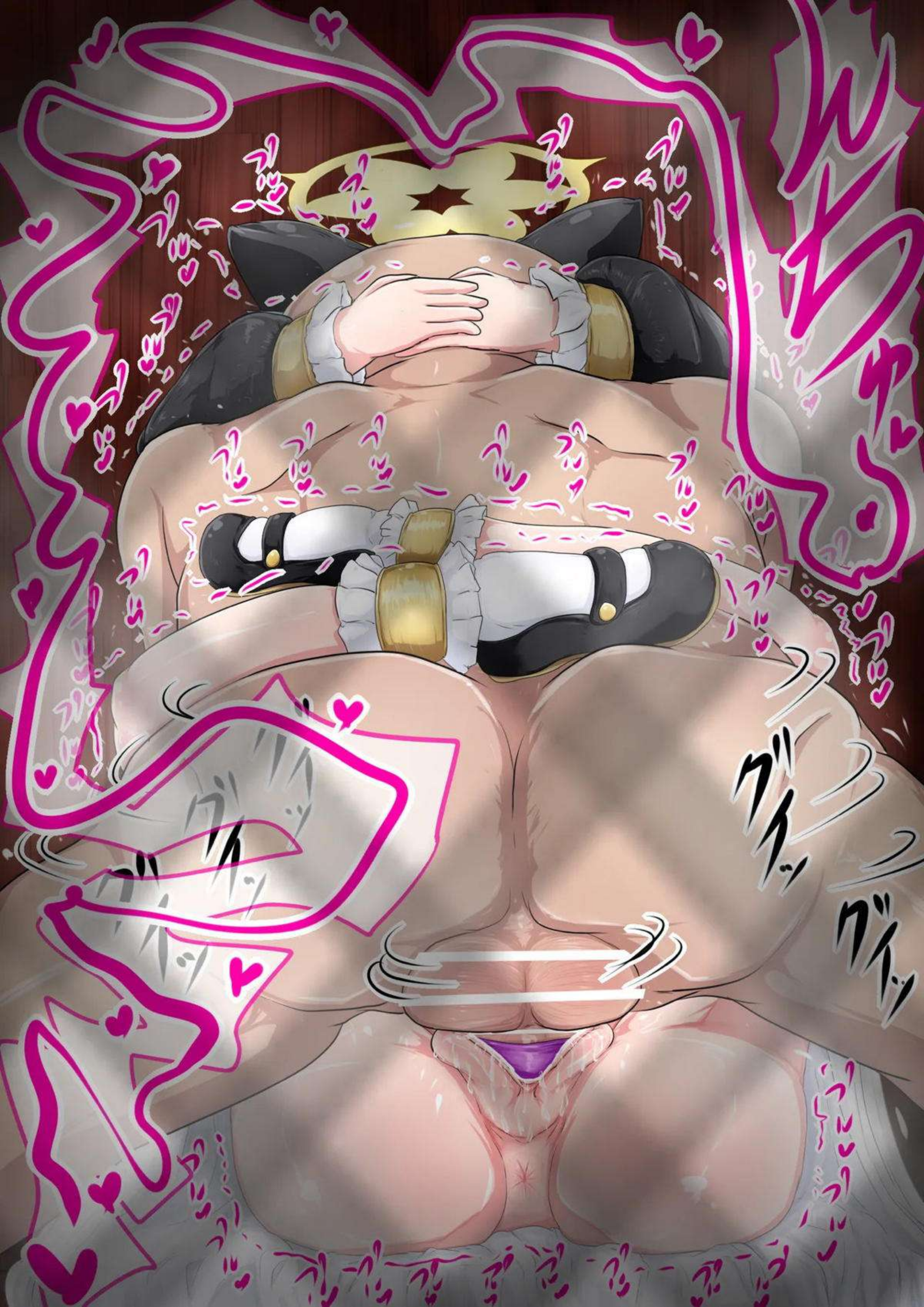
















あゝまて
ムキチキ
てす

は
と...





身代り

お前の

アタ

お前の

種付けプレスされて
あんなに喜んで
脚まで絡ませて
最後には・・・

違う

あれは違う
違う違う違う

いくらセックスが
気持ち良かったからって

マリーはキスまで
許したりなんか・・・

あらまあ
なんだ

ん

それは

う

う

う

マリー

う

マリーは
膣の締め付けで抜けた
であろうゴンドームを
股からぶら下げながら

男のペニスにこびりつている
精液を丁寧に美味しそうに
舐めとっていた



そんなに膣でしほる
ほどよかったのか...

グムがマリーの
エロからみでし

精液を丁寧に丁寧に
舐めとり終わると

何度も何度も
執拗に

マリーは
男の陰茎に
キスをした

何度も何度も
名残惜しそうに

男の陰茎にキスをした





以上で
彼の懺悔の吐き出しを
終わりに致します

お・・・終わった
のか・・・

寝取らせが
終わると

男は手筈の通りに
懺悔部屋から
出ていった

……
……
……



マリーは
身だしなみが
整え終ると

先出てますね

そう告げ
伺い知れない表情を
して部屋を出た

あ

うん



寝取らせが終わった

アタマがオカシクなる
くらい気持ち良く

今までにありえない快感が
いまでも股間に残っている

ありえない
射精量に射精回数

陰茎もほとんど勃起しっぱなしで
扱けば扱くほど気持ち良かった

マリーと男が身体が
絡みつくほどに興奮
しては射精した

ただ同時に
胸は常時キュ〜っと
して苦しかった

そういや・・・部屋を
出るときマリーが
目を合わせてくれな
かった・・・

不安だ
すっげ〜不安だ

後半なんて過激な事
マリー言っただけど
あれ・・・演出・・・
だよな・・・

は・・・早く
私も出よう

怖くなって慌てて
部屋を出た

先生どうしたん
ですか慌てて

わっ

わっ

ア



アセ
アセ
アセ

アセ
アセ
アセ

あああ
よかった
よかった

な・・・なんで
涙目なんですか？

そこにはいつもの
マリーがいた

よかった
マリーがいた

さっきまですぐ近くに
いたのは分かっている
んだけど

アイツと一緒
私のものから

いまだに
思ってたえ

もう

アイツって

あの人を手配
したのも

終わったらここで落ち合う
って決めたのも

先生じゃないですか

そっけんと



いつも通りのマリーだけど
やっぱりどこか違くて

寝取らせている間
マリー凄く気持ちよさそうで
アイツに夢中だったから

その違和感は
火照った彼女の身体……

あゝえゝつと
え……演技ですよ

特にクチや手
スカートの中から
いまでも^{ぽろ}滲み出ている

なまぬる
湿った生温い
蒸気が

それに終わりの方で
脚絡ませてたし

そういう風にした方が
興奮すると思ひまして

あとイくとき
マリー

アイツとキ……

キスしてたんじゅん

さっきまで

男と性行為をしてきた

のだと

はつきり実感できた

先生

このあと
どうなさいますか？

突然遮られた

え？

普段の彼女には
なかった対応

あ．．．
えっと．．．

頭は寝取らせでの
興奮と

彼女がいなくなっ
てしまうのでは
という不安で

咄嗟に
答えられなかった

私とあの人の
寝取らせは

どうでしたか？

う・・・
その・・・

思い出してしまった
マリーと男が性行為に
耽っていた淫蕩な光景を



夢中になって凝視した
マリーと男の交尾する姿

我武者羅に陰茎を扱いて
吐き出した射精感

直に亀頭を絞っても
快樂とともに吐き出した
痺れるほど心地よい吐精

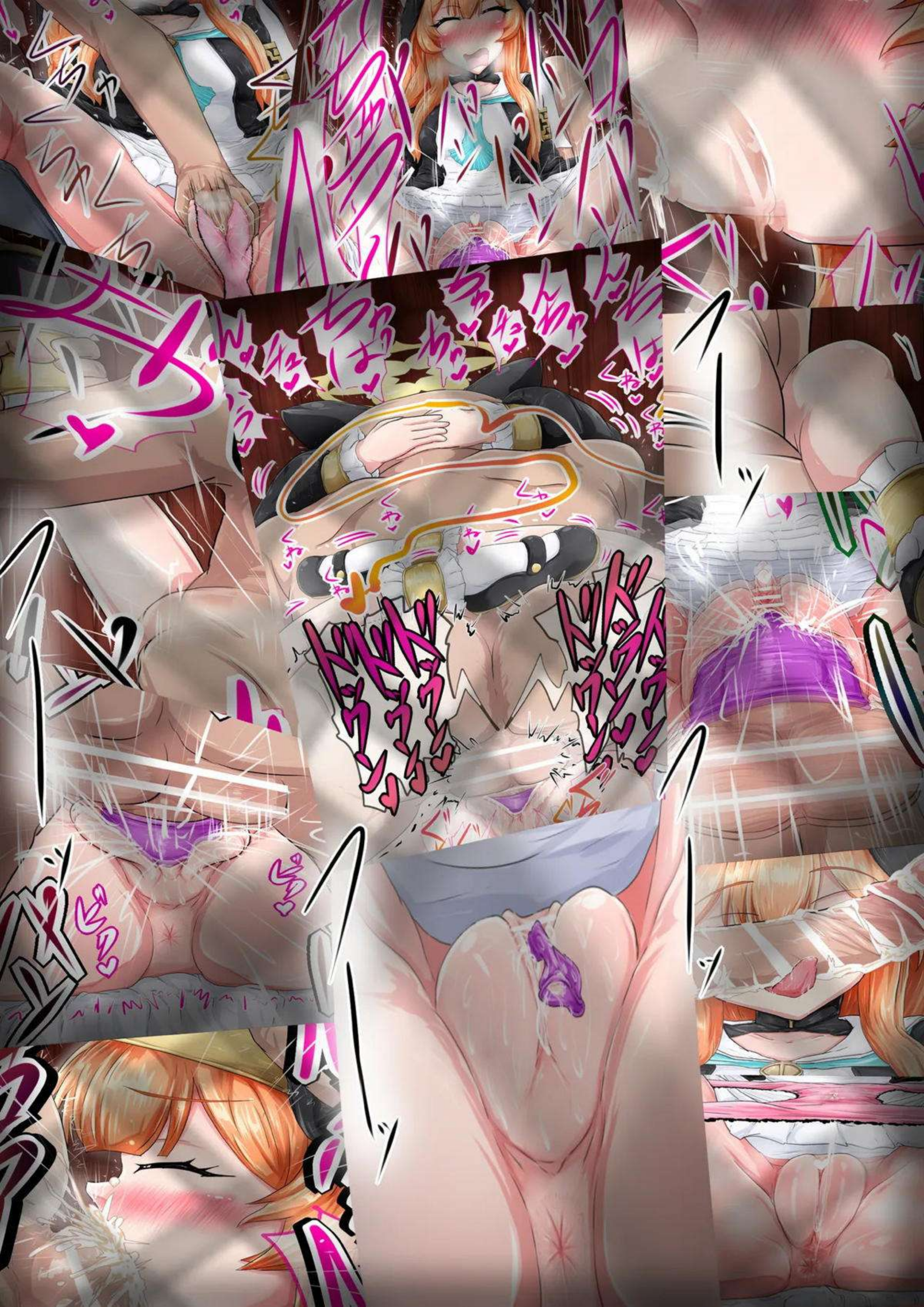
射精してもすぐ勃起する陰茎

マリーと男の
淫らな交わりで

射精すれば
射精するほど

果てること無い性欲

気持ち良くてたまらない
快樂で満ちた時間



思い出したら
硬く熱く勃起していた

あゝ





最後シたあと
にですわね

あの人に耳打ち
されたんです

このあと続きを
しないかって

「お誘い」

が……





もちろん

マリーとあの男の
間で

私の知らない
約束が・・・

断ってもいいとも
聞いていますよ

なんだろうマリィの様子が
酷く私を不安にさせる

まあ断られるの前提で
冗談のようにおしやった
ようですけど

ただ

いまの私ですと・・・
その・・・

いまのマリィ
だと・・・

どうなんだ・・・

私よりもっと交尾が
できるオスの味知って
興奮しているのか？

いまスカートを
捲ればその中は
あれほど交尾してもなお
欲求不満なメスの臭いで
充滿しているのか？



先生がお近くにいらっしやったので
どこか抑えていた部分があります

いえ

懺悔室ですと私と彼は
プレイ感覚であつたのと

仮にこのまま付いて
行つてしまえば

そこから先は



セックス
男と女の性行為で

なにより
先生以外の方に

許してしまうと
思っています……

わ……許す……

な
か
だ
し

膣
内
射
精

先生
どうしたらいいですか？

先生が嫌だって
一言おっしゃって頂ければ
すぐにお断りしますので



マリーはいまだ性欲が滾^{たぎ}っていて
まだあの男とシタそうな貌^{かお}をしている

自身もそれは自覚して
いるのだろう

その場であの男に応えず
心情を私に誤魔化す事無く
正直に話すのは
彼女なりの誠意であり
私との間で葛藤し悩んでいる

だから彼女は
私に訊^{たず}ねている

だからこそ

いまだからこそ
聞きたい



マリーは
どうしたい？



発情したメスの蜜を
床に垂^たらす羞恥を
晒しながらも

私に委ねてくれる

マリー
彼女



それに対し
私は・・・



“行くなマリー。むしろ私から断っておく”

“あの男と「続き」を
撮影してきてくれない・・・か”

先生

...

つづく？





